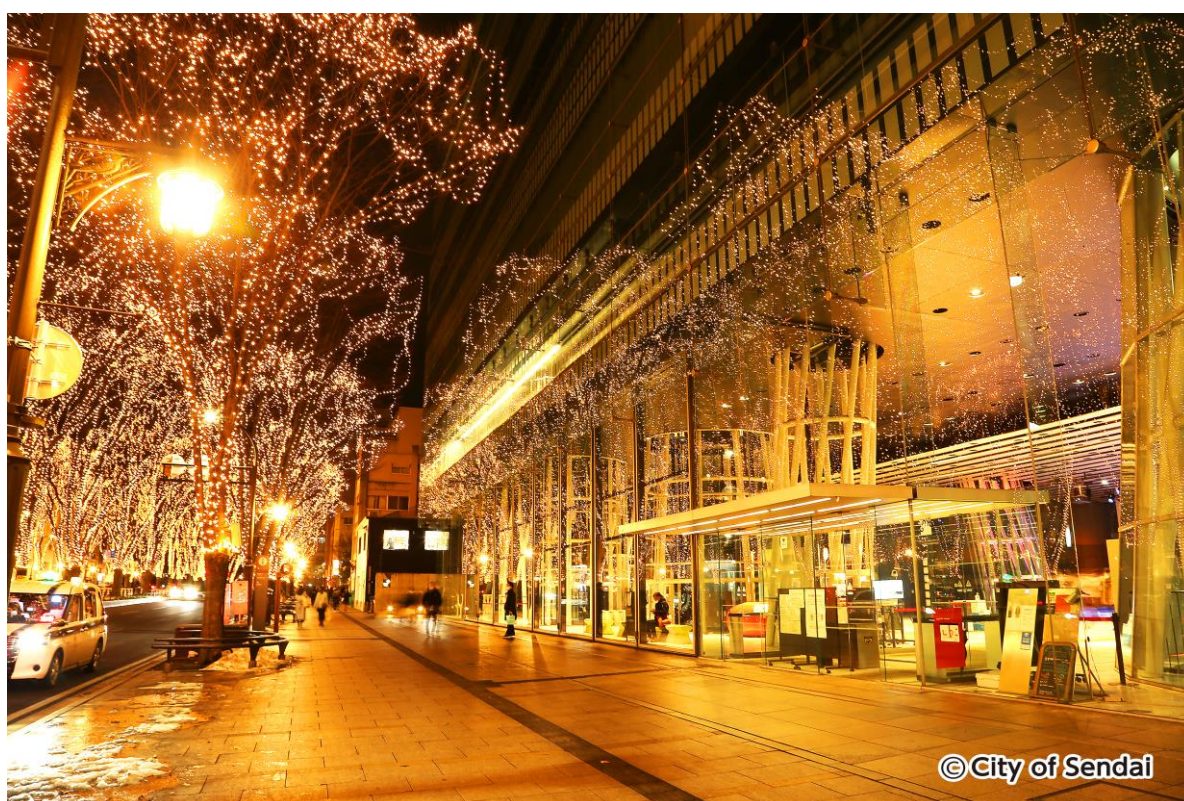


みんなの財政のミカタ

令和2年度
決算版

仙台市の財政を分かりやすく説明します



令和3年12月
仙台市

Part1.決算解説編では、仙台市の令和2年度決算についてお知らせします。
決算は、1年間の市の収入や支出をまとめたものです。

目次

1.	令和2年度決算額	1
	仙台市全体の決算額は？「3つのお財布」ってなに？	
2.	歳入	2
	仙台市の1年間の収入はどうなっているの？	
3.	歳出	3
	支出の「2つの見方」ってどういうこと？	
4.	震災復興への取り組み	5
	震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？	
5.	仙台市の財政状況	6
	仙台市の財政状況ってどうなの？	
6.	財政見通しと行財政改革	10
	これからの仙台市財政はどうなるの？	
※	コラム：令和2年度決算を家計に例えると？	11

Part2. 資料編

1.	令和2年度特別会計・企業会計決算の状況	
	(1) 収支の状況	14
	(2) 令和2年度に行った主な事業	15
2.	令和3年度上半期の財政状況（令和3年9月30日現在）	
	(1) 予算の執行状況（一般会計・特別会計・企業会計）	20
	(2) 市債、市有財産、基金などの状況	22

1. 令和2年度決算額

仙台市全体の決算額は？「3つの財布」ってなに？

令和2年度の1年間に、仙台市全体でどれほどのお金が使われたのか見てみましょう。

	令和2年度 歳出（支出）決算額
総 額	1兆1,656億5,966万円
一 般 会 計	6,539億9,412万円
特 別 会 計	3,024億9,928万円
企 業 会 計	2,091億6,626万円

「会計」とは、家庭における「お財布」にあたるものです。

収入をどの事業に使っているのかを分かりやすくするために、お財布（会計）を一般会計・特別会計・企業会計の3つに分けています。

それぞれの会計の特徴は？

一 般 会 計

福祉や教育、道路整備など、市の基本的な事業を行う会計です。収入は市税や地方交付税等によってまかなわれます。

特 別 会 計

特定の事業を特定の収入によって実施するための会計です。保険料など特定の収入があるため、一般会計とは区別する必要があります。仙台市には、国民健康保険事業や介護保険事業など、10会計があります。

企 業 会 計

地方公共団体が直接経営する、地方公営企業の会計です。それぞれ利用者の方々が支払う料金等の収入で事業を行います。仙台市には、下水道・地下鉄・バス・水道・ガス・病院の6会計があります。

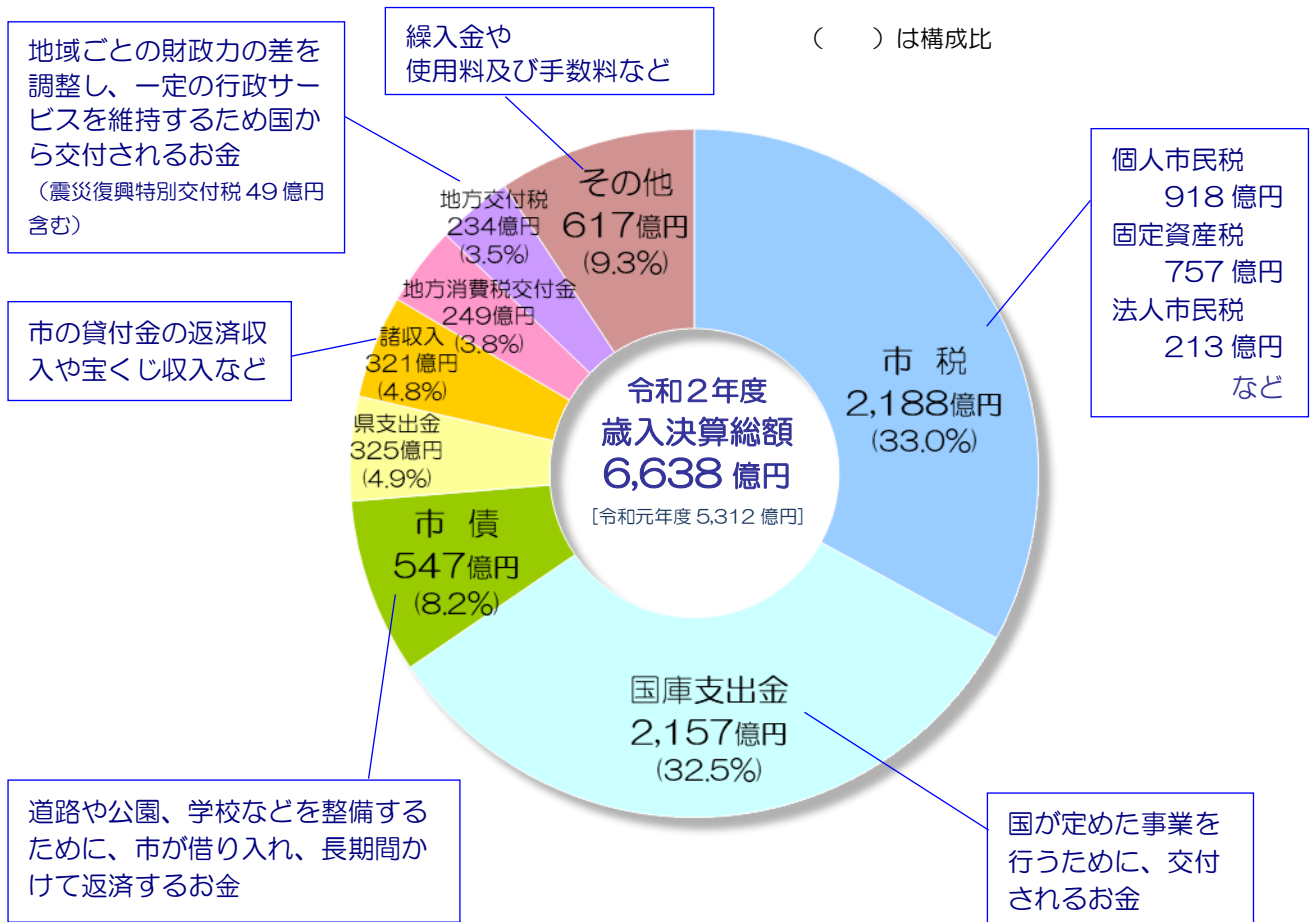
→「みんなの財政のミカタ」では、次のページから主に「一般会計」について説明をしています。特別会計・企業会計の決算については、「Part.2 資料編」をご覧ください。

2. 歳入

仙台市の1年間の収入はどうなっているの？

市の1年間の収入である歳入について説明します。

令和2年度の歳入決算額は前年度から1,326億円増加し、6,638億円となりました。



令和2年度決算の特徴は？

市税

法人税割の税率引き下げや企業収益の減少による法人市民税の減少などにより、前年度から 30 億円減少しています。[R 元年度 2,218 億円]

国庫支出金

特別定額給付金の支給のための国庫支出金の増加などにより、前年度から 1,302 億円増加しています。[R 元年度 855 億円]

県支出金

感染症拡大防止協力金の支給のための県支出金の増加などにより、前年度から 85 億円増加しています。[R 元年度 240 億円]

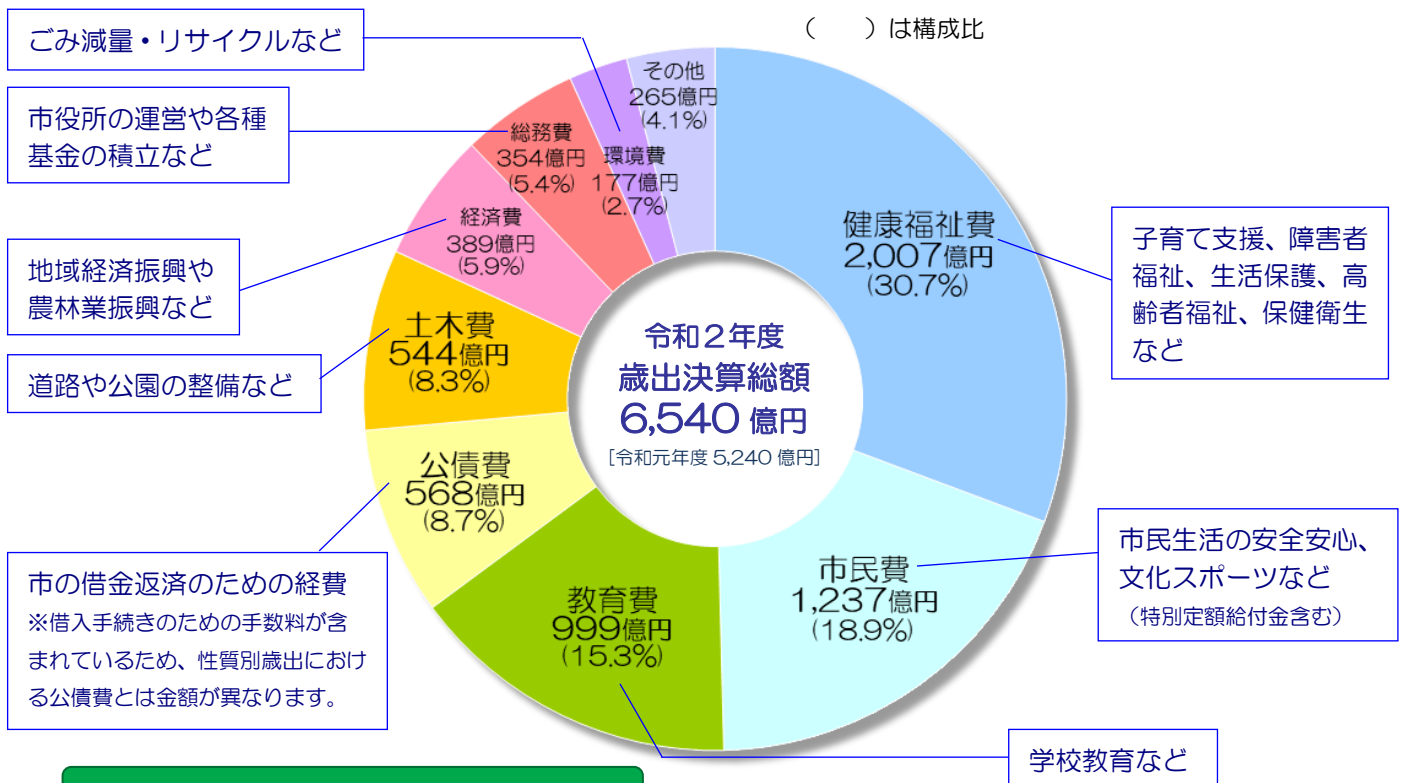
3. 歳出

支出の「2つの見方」ってどういうこと？

令和2年度の歳出決算額は前年度から 1,300 億円増加し、6,540 億円となりました。

歳出は、福祉、教育など行政サービスの目的で分類した「目的別歳出」と、人件費、扶助費など、経費の性質で分類した「性質別歳出」の、「2つの見方」をすることができます。

目的別歳出



令和2年度決算の特徴と主な事業は？

市民費

特別定額給付金の支給に要する経費の増加などにより、前年度から 1,086 億円増加しています。[R 元年度 151 億円]

◆ 特別定額給付金支給 1,073 億円

経済費

地域産業協力金等の支給に要する経費の増加などにより、前年度から 181 億円増加しています。[R 元年度 208 億円]

◆ 中小企業融資預託金 176 億円

◆ 地域産業協力金等 106 億円

健康福祉費

ひとり親世帯臨時特別給付金の支給に要する経費の増加などにより、前年度から 97 億円増加しています。[R 元年度 1,910 億円]

◆ 生活保護 300 億円

◆ 私立保育所運営委託 160 億円

◆ 児童手当 154 億円

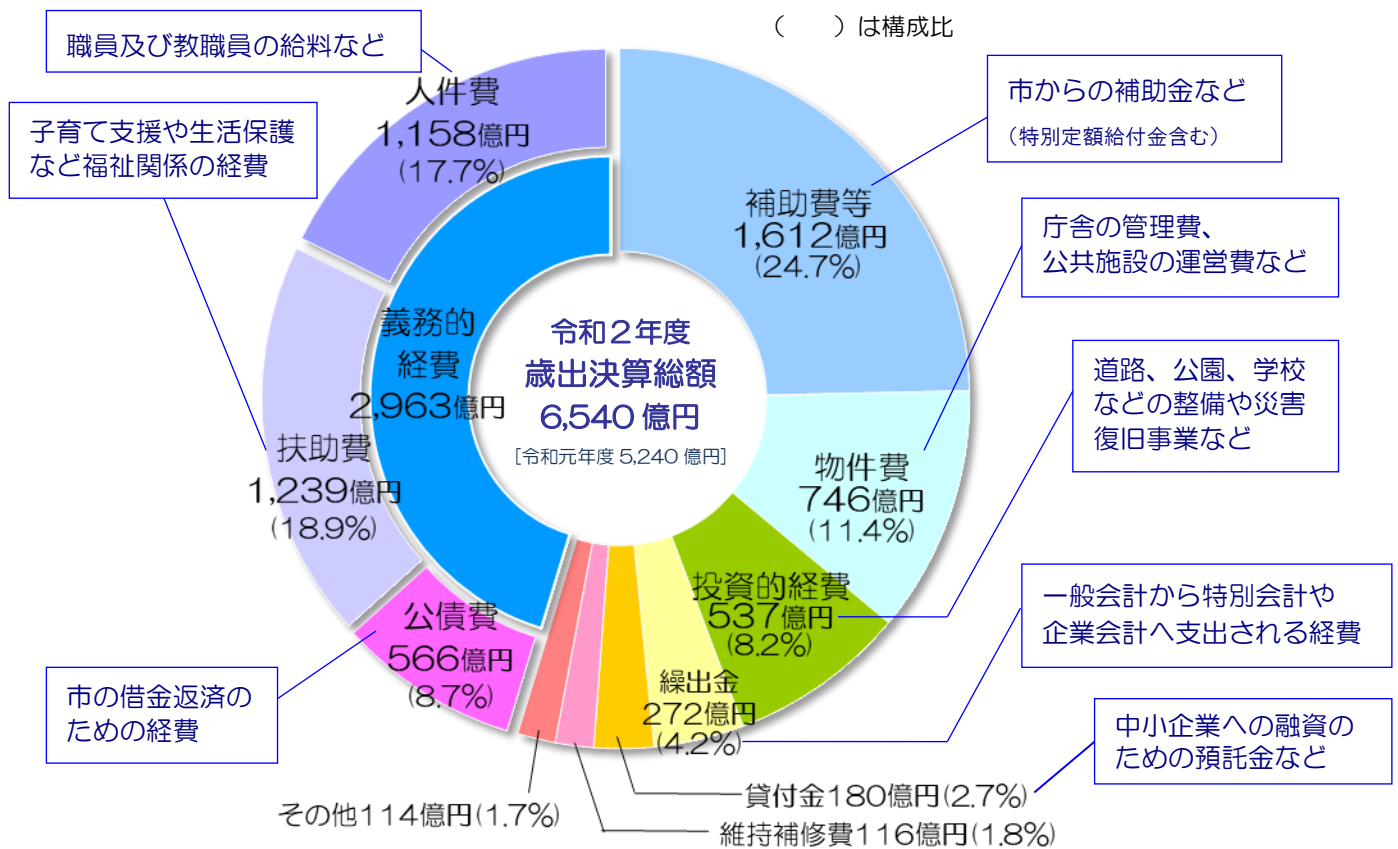
新型コロナウイルス感染症関連の歳出は？

令和2年度決算における新型コロナウイルス感染症関連の歳出は1,404億円となりました。今後も感染状況等に応じ、必要となる施策に適切に取り組んでいきます。

新型コロナウイルス感染症関連の主な事業

市民費	・特別定額給付金支給 1,073億円
健康福祉費	・ひとり親世帯臨時特別給付金支給 13億円 ・子育て世帯臨時特別給付金支給 13億円 ・児童福祉施設等職員慰労金支給 6億円 ・新型コロナウイルスワクチン接種 5億円
経済費	・地域産業協力金等 106億円 ・地域産業金融支援 60億円 ・地域消費喚起割増商品券発行 10億円

性質別歳出



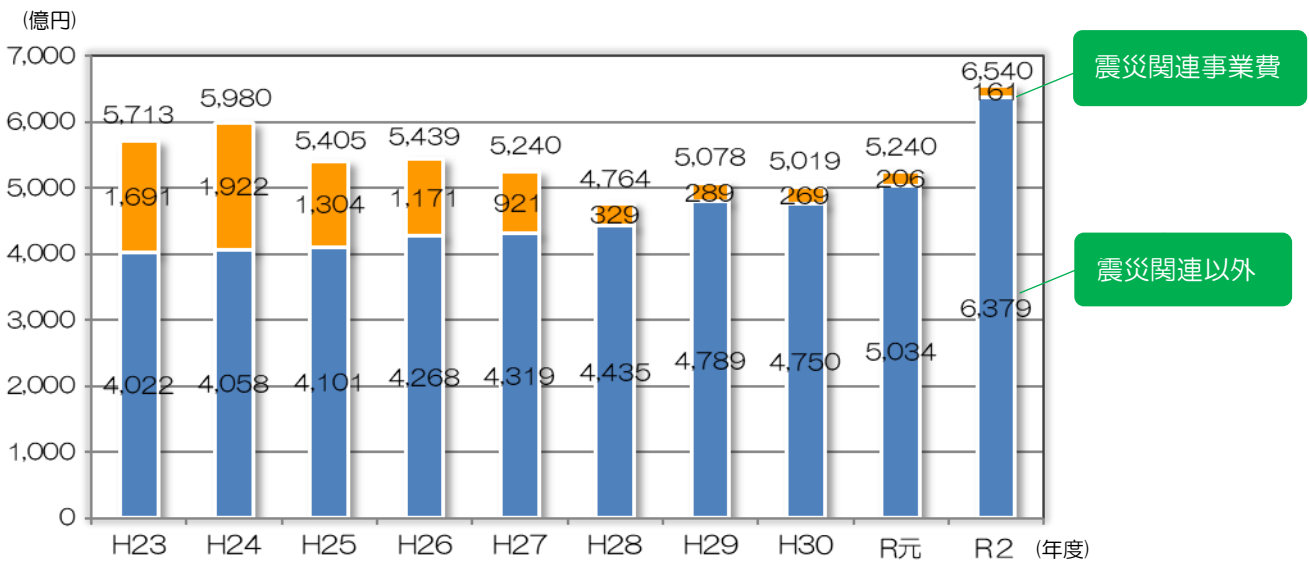
グラフの左側部分にあたる人件費・扶助費・公債費を「義務的経費」といいます。これらは任意に削減することができない経費であり、この割合が大きくなると、新しい事業に使える経費が少なくなります。

4. 震災復興への取り組み

震災復興にはどれくらいのお金が使われているの？

続いて、東日本大震災からの復旧・復興に使われた事業費の推移を見ていきましょう。

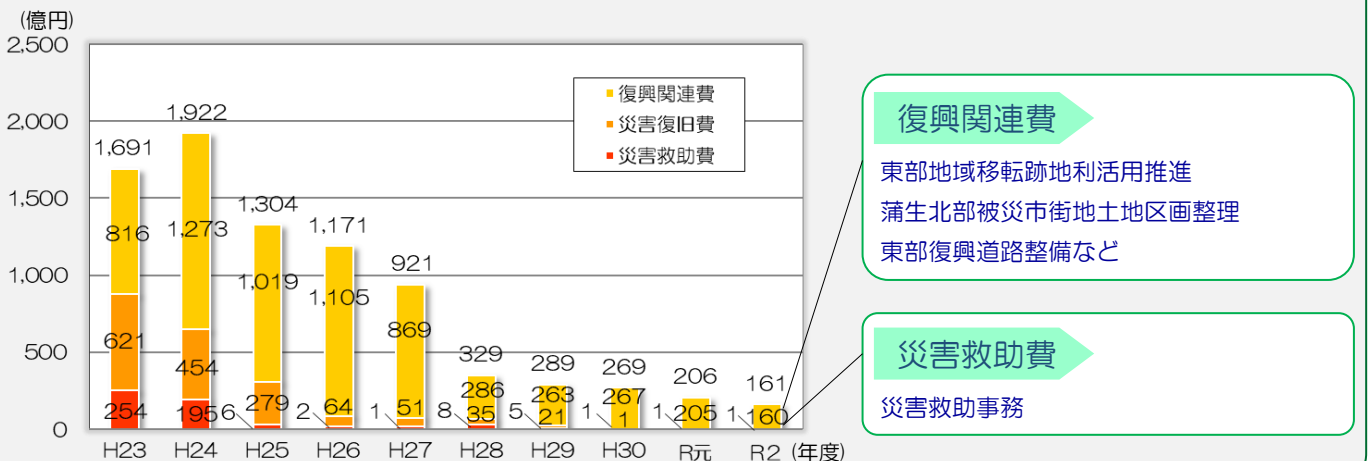
一般会計歳出に占める震災関連事業費



令和2年度決算における震災関連の事業費は161億円となり、前年度から45億円減少しました。これは、東部復興道路整備などの復旧・復興事業の進捗に伴い、経費が減少したことによるものです。

震災関連事業費の内訳は？

震災関連事業費の内訳を見てみると、災害復旧費の計上が終了したことに加え、東部復興道路整備や蒲生北部被災市街地土地区画整理などの復興関連費が事業の進捗に伴い徐々に減少してきていることが分かります。



復興関連費

東部地域移転跡地利活用推進
蒲生北部被災市街地土地区画整理
東部復興道路整備など

災害救助費

災害救助事務

5. 仙台市の財政状況

仙台市の財政状況ってどうなの？

ここまでは、一般会計の決算額について見てきました。

しかし、これだけでは仙台市の財政が健全かどうかを判断することができません。

ここからは、財政状況を判断する手がかりとなる、財政指標や市債残高を見ていきましょう。

健全化判断比率

「健全化判断比率」は、**地方自治体の財政運営がどのような状況にあるのかを把握し、早い段階で健全化へ向けた取組みが必要かを判断するための指標**です。

いずれかの指標で一定の基準を超えた場合、財政健全化のために計画をつくることなどが義務付けられます。

指標	解説	令和2年度 決算	早期健全化 基準 ※2	財政再生 基準 ※3
実質赤字比率	$\frac{\text{一般会計等※1の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	11.25%	20%
連結実質赤字比率	$\frac{\text{すべての会計の赤字}}{\text{財政規模}}$	— (—)	16.25%	30%
実質公債費比率	$\frac{\text{1年間の借金返済費用}}{\text{財政規模}}$	6.1% (6.1%)	25%	35%
将来負担比率	$\frac{\text{将来負担する可能性のある負債}}{\text{財政規模}}$	71.2% (78.8%)	400%	

表中の「-」は、赤字が生じていないことを示す。() は令和元年度決算の値。

※1 一般会計等とは、一般会計と一部の特別会計(都市改造事業・公共用地先行取得事業・公債管理・母子父子寡婦福祉資金貸付事業・新墓園事業)を合わせたもの。

※2 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、自主的な改善努力を図るため、財政健全化計画を策定する。

※3 いずれかの指標でこの基準を超えた場合、国の関与による確実な再生を図るため、財政再生計画を策定する。



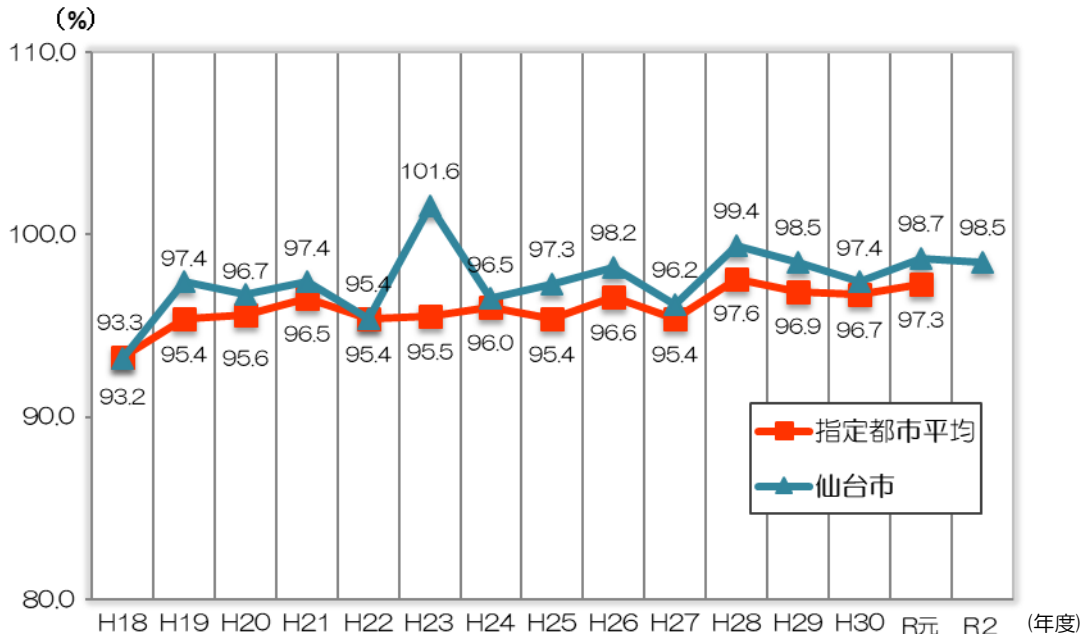
令和2年度決算に基づく仙台市の健全化判断比率は、いずれも国の定める早期健全化基準を下回っており、これらの指標上はおおむね適正な水準にあると言えます。

経常収支比率の推移（普通会計※決算ベース）

「経常収支比率」とは、**財政構造の弾力性を表す指標**です。

市税など毎年の経常的な収入である一般財源が、扶助費など毎年固定的に支出されなければならない経常的な経費に、どの程度充当されているかで算出されています。

この比率が高いほど、政策的な経費に回す財源が少ないことを表します。



令和2年度決算に基づく仙台市の経常収支比率は、98.5パーセントとなっています。扶助費の増加などにより、近年高い水準で推移しており、財政構造が硬直化している状況にあることを示しています。

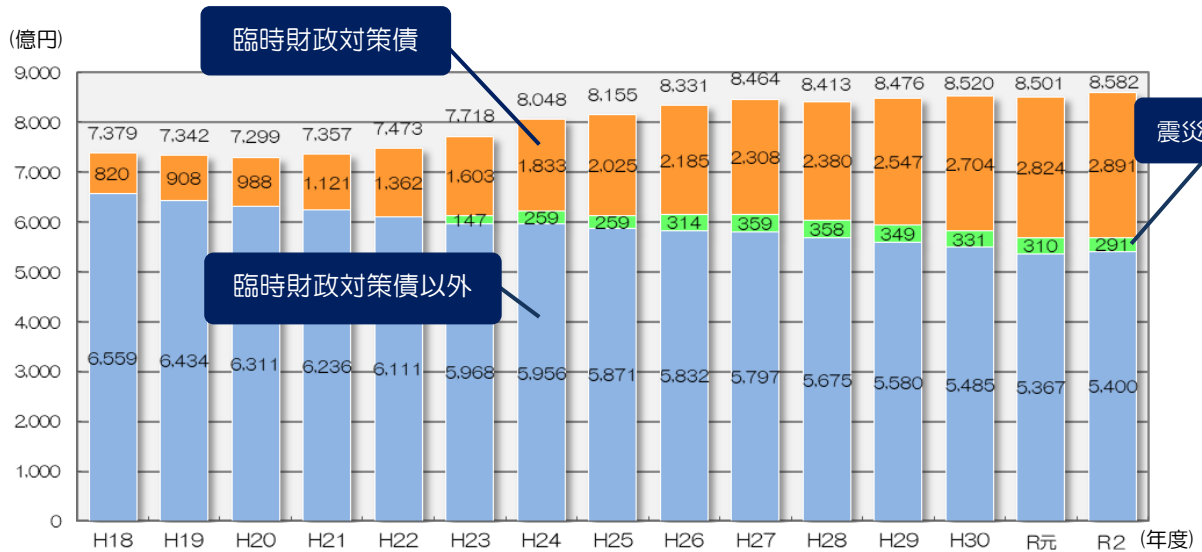
※普通会計ってなに？

仙台市には一般会計・特別会計・企業会計の3種類の会計があります。しかし仙台市の一般会計の内容が、他都市と同じとは限らずそのままでは比較ができません。そこで、国で「普通会計」という統一の考え方を定めており、地方公共団体は「普通会計」に沿って算出した値によって互いの財政状況を比較します。

仙台市の「普通会計」には、一般会計（一部を除く）・特別会計の一部（都市改造事業特別会計の一部、公共用地先行取得事業特別会計、公債管理特別会計の一部、母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計及び新墓園事業特別会計）が含まれます。

市債

「市債」とは、市の借金のことです。ここでは市債残高の推移に着目してみましょう。



令和2年度決算における一般会計の市債残高は8,582億円となり、前年度の決算時点から81億円増加しました。

「臨時財政対策債」※の残高の増加に加え、それ以外の市債残高についても、新型コロナウイルス感染症の影響による減収に対応するための特別な市債を活用したことなどにより増加しました。

※「臨時財政対策債」ってなに？

「臨時財政対策債」とは、国から本来交付されるべき地方交付税の原資となる国税収入が不足していることから、その不足を埋める対策の一つとして、地方が発行する特別な市債です。仙台市では、近年、**本来交付されるべき地方交付税の半分以上が臨時財政対策債に振り替えられています**。この市債の返済に必要な額は、全額が後年度に地方交付税として手当てされます。

そもそもどうして市債を発行するの？

市債は主に、道路や学校など、将来にわたって長く利用される施設の建設費、整備費用に充てられています。市債を発行して返済を後の年度にも分けて行うことで、施設を利用する将来の世代の方にも、建設費用を公平に負担していただくことができます。

基金

「基金」とは、家計の貯金にあたるものです。

基金には、年度間で予算の財源の調整を行う「財政調整基金」のほか、特定の目的に使うために積み立てている基金などがあります。

令和2年度末での基金残高

一般会計	2,416 億円	特別会計	267 億円
・ 財政調整基金	277 億円	国民健康保険や介護保険の 財源調整を行う基金など ※企業会計には、基金がありません	
・ 市債管理基金	1,206 億円		
・ 高速鉄道建設基金	553 億円		
・ 市庁舎整備基金	125 億円		
・ 震災復興基金	94 億円		
・ 公共施設保全整備基金	86 億円 など		

それぞれの基金ってどんなもの？

市債管理基金

市債の返済に必要な資金を計画的に積み立てている基金

高速鉄道建設基金

地下鉄建設等のために発行した市債の返済などに備えて積み立てている基金

市庁舎整備基金

本庁舎建替など市庁舎の整備を図るために積み立てている基金

震災復興基金

東日本大震災からの復興に関する事業の推進を図るために積み立てている基金

公共施設保全整備基金

公共施設の長寿命化の推進や計画的な更新を図るために積み立てている基金

6. 財政見通しと行財政改革

これからの仙台市財政はどのようなの？

仙台市の財政状況について、これからの見通しを説明します。

今後の財政見通し

新型コロナウイルス感染症による今後の財政運営への影響を見通すことは難しい状況ではありますが、歳入面においては、内閣府の経済見通し等を考慮すると、市税収入の緩やかな回復も見込まれる一方で、連動する形で普通交付税が減少し、主要一般財源はほぼ横ばいで推移することが見込まれます。歳出面では、社会保障関係経費や公共施設の長寿命化対策に要する経費等の増加に加え、長期化する感染症の拡大防止等に一定程度の経費が必要となる見通しであり、今後の本市の財政運営は予断を許さないものと見込まれます。

財政構造の硬直化が進行しているという現状も踏まえ、地域経済の早期再生、成長促進による税源涵養など、自主財源の確保に向けた取組みを強化することに加え、事務事業の見直しや効率化の推進、公共施設の長寿命化や事業費の更なる平準化など、**歳入歳出両面におけるあらゆる方策を講じ、将来にわたり持続可能な財政基盤の確保につなげてまいります。**

※参考：今後の収支差見通し（仙台市の財政見通しと対応の方向性(令和3年9月)より）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度
歳入	5,319億円	5,437億円	5,462億円
歳出	5,607億円	5,758億円	5,800億円
収支差	△288億円	△321億円	△338億円

行財政改革の取組み

多様化する市の課題に対応し、将来にわたり市民の皆様に行行政サービスを提供していくためには、しっかりとした行財政運営基盤が必要です。そのため、仙台市では、平成7年以降、継続的に行財政改革計画を策定し、効率的な行財政運営に取り組んでいます。平成31年4月には、今後の市役所経営の方針を明確化するとともに、本市の様々な施策の推進を下支えするものとして、「仙台市役所経営プラン」を策定しました。

「仙台市役所経営プラン」（令和4年度当初まで）における取組みの一部を紹介します。

- ・ 公共施設マネジメントプランの推進
- ・ 市税や保険料、使用料などの収入率・収納率の向上
- ・ 民間活力の導入などによる行財政運営の効率化
- ・ ICTの積極的な利活用
- ・ 公営企業の経営改革

計画に基づく平成28年度当初から6年間の取組みの効果として、約280億円を見込んでいます。

また、現在、持続可能な財政基盤や実行力のある組織体制の構築等のため、「仙台市役所経営プラン（令和4年度～令和8年度）」の策定を進めています。

コラム：令和2年度決算を家計に例えると？

仙台市と家庭では、金額やお金の使い道に大きな違いがあるため、単純に比較はできませんが、令和2年度の一般会計の決算を1年間の支出が400万円（1か月あたり33万3千円）の家計に例えてみました。

仙台市の1カ月の家計簿

収入

・給料	26万7千円
基本給(市税)	11万円
諸手当(地方交付税、国県支出金など)	15万7千円
・パート収入	
(使用料・手数料、財産収入など)	3万円
・金融機関からの借金(市債)	2万7千円
・貯金の取り崩し(繰入金)	9千円

合 計 33万3千円



支出

・食費(人件費)	5万9千円
・医療費(扶助費)	6万3千円
・住宅ローンの返済(公債費)	2万9千円
・光熱水費、日用品費	
(物件費)	3万8千円
・家電の買替え、家の修繕	
(投資的経費・維持補修費)	3万3千円
・子どもへの仕送り	
(補助費等・繰出金など)	10万7千円
・将来に備えた貯蓄(積立金)	4千円

合 計 33万3千円



収入

給料でのやりくりに努めていますが、それだけでは全ての支出を賄うことができない状況です。

金融機関からの借金をしたり、不足額を補うために貯金の取り崩しをしたりしています。

支出

全ての支出のなかで、子どもへの仕送りの占める割合が最も高くなっています。

また、食費、医療費、住宅ローンの返済といった必ずかかる費用が全体の45.3%を占めています。

お出かけには市バス・地下鉄をご利用ください

仙台市内の移動には、目的地のすぐ近くまで行ける**市バス**が便利！
地下鉄は、天候や渋滞の影響が少なく、所要時間がほぼ正確なので、お出かけの計画も立てやすい！
お得な運賃制度も色々ご用意していますので、お出かけには市バス・地下鉄をぜひご利用ください。



市バス

市バスと地下鉄を上手に乗りこなして 移動は“お得に”“時短で”

○経路・運賃・時刻表は

 **せんだい市バス・地下鉄ナビ**
<https://www.navi.kotsu.city.sendai.jp/>

○バス待ちには

バスの接近情報をネットでお知らせ
どこバス 仙台
<https://www.dokobasu.kotsu.city.sendai.jp>

○仙台名所巡りには

LOOPLE SENDAI
るーぶる仙台
<https://loople-sendai.jp/>

お得なクーポン付き「120円パツ区一日乗車券」 仙台 MaaS(マース)で販売中！

対象のバス停にはロゴマーク



市中心部の市バス・宮城交通バスが120円均一で乗車できる「120円パツ区」。

その区域内が**300円**で**1日乗り放題**となるお得な乗車券を、仙台 MaaS のウェブサイト限定で発売しています！

ご購入はこちらから



乗車券についてくるクーポン提示で受けられる飲食店等のお得なサービスの詳細は、交通局ウェブサイトをご覧ください！

仙台の移動をもっと自由に、スマートにするための「仙台 MaaS」



お乗りの際は

イクスカ

「icsca」をどうぞ



ICチップが埋め込まれたカード乗車券。事前に入金(チャージ)しておけば、地下鉄の改札機またはバスの運賃箱にタッチするだけで運賃が支払えます。

乗車回数や利用金額に応じてポイントも貯まります！

市バス・地下鉄のお得な運賃制度

○地下鉄 210 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/210enkinnitu.html>

○東西線結節駅周辺バス 100 円均一

<https://www.city.sendai.jp/kokyo/kurashi/machi/kotsu/annai/kessetu.html>

【休日のお出かけなどに便利な一日乗車券】

○市バス一日乗車券 ○地下鉄一日乗車券

○るーぶる仙台・地下鉄共通一日乗車券

<https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/waribiki.html>

【通学に加えて習い事などの利用路線も格安で購入できる通学定期券】

○学都仙台フリーパス

https://www.kotsu.city.sendai.jp/fare/freepass/hanbai_index.html



Part2.資料編では、地方自治法第243条の3及び地方公営企業法第40条の2の規定のほか、各法に関連する市の条例の規定に基づき、財政状況等を公表します。

仙台市の財政状況についてさらに詳しく知りたい方は、仙台市のホームページをご覧ください。

<https://www.city.sendai.jp/shikin/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/index.html>

1. 令和2年度特別会計・企業会計決算の状況

(1) 収支の状況

① 特別会計

(単位：千円)

	歳入決算	歳出決算	歳入歳出 差引	翌年度 繰越財源	実質収支
都市改造事業	5,379,447	5,249,898	129,549	129,549	0
国民健康保険事業	88,720,786	87,064,472	1,656,314	0	1,656,314
中央卸売市場事業	3,198,768	3,197,770	998	998	0
公共用地先行取得事業	1,426,820	1,426,820	0	0	0
駐車場事業	190,963	190,963	0	0	0
公債管理	114,846,355	114,846,355	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	232,750	62,603	170,147	0	170,147
新墓園事業	902,704	804,078	98,626	0	98,626
介護保険事業	79,009,862	77,590,281	1,419,581	0	1,419,581
後期高齢者医療事業	12,169,218	12,066,035	103,183	0	103,183
合 計	306,077,673	302,499,275	3,578,398	130,547	3,447,851

② 企業会計

(単位：千円、消費税込み)

	収益的収支			資本的収支		
	収入	支出	差引	収入	支出	差引
下水道事業	35,922,137	34,084,632	1,837,505	17,476,173	30,886,057	△ 13,409,884
自動車運送事業	8,625,001	10,225,933	△ 1,600,932	1,017,845	1,465,048	△ 447,203
高速鉄道事業	19,383,074	25,437,413	△ 6,054,339	2,314,786	9,674,606	△ 7,359,820
水道事業	28,964,259	25,529,463	3,434,796	4,712,442	14,803,879	△ 10,091,437
ガス事業	34,539,184	30,036,088	4,503,096	1,076,265	6,755,183	△ 5,678,918
病院事業	18,804,027	18,796,215	7,812	1,128,186	1,471,747	△ 343,561
合 計	146,237,682	144,109,744	2,127,938	27,725,697	65,056,520	△ 37,330,823

※ 収益的収支とは、公営企業の経営活動により発生した収益と費用のことです。資本的収支とは、公営企業の将来の経営活動に備えて行う建設改良費等とその財源となる収入のことです。

※ 表示単位未満を四捨五入しているため、差引や合計が一致しない場合があります。上の決算で支出が収入を上回っている部分は、企業が活動していく上で蓄えられた内部留保資金などで対応しています。

(2) 令和2年度に行った主な事業

① 特別会計

■ 都市改造事業特別会計

(仙台市が施行する土地区画整理事業の会計)

- ・ 蒲生北部地区における防災集団移転促進事業移転跡地等の整理・集約といった、都市基盤の再整備（電柱等移転補償、道路・下水道等整備、公園緑地整地工事）を行いました。

■ 国民健康保険事業特別会計

(自営業者の方などが加入している国民健康保険の会計)

- ・ 国民健康保険の安定化を図るため、都道府県が財政運営の責任主体となり、市町村とともに国民健康保険事業を運営しています。
- ・ 被保険者の医療費等に598億円を支出しており、財源については県からの交付金等により賄われています。
- ・ 医療費水準や所得額等に応じて負担する県への国民健康保険事業費納付金に241億円を支出しました。

■ 中央卸売市場事業特別会計

(水産物、青果物、花き及び食肉を取り扱う市場の会計)

- ・ 本場では、高圧受変電設備改修や自動火災報知機改修、青果買荷保管積込所空調機設備改修を行いました。
- ・ 食肉市場では、汚水処理施設の改築や、市場棟屋上防水工事を行いました。

■ 公共用地先行取得事業特別会計

(事業を計画的に行うために、計画決定された道路用地などをあらかじめ取得するための会計)

- ・ 一般会計での先行取得用地の引取は、1,124.9㎡でした。

■ 駐車場事業特別会計

(仙台市が設置する二日町、勾当台公園地下及び泉中央駅前の駐車場の会計)

- ・ 延べ利用台数は、3駐車場合計で482,087台でした。
- ・ 前年度の利用台数と比較すると、二日町駐車場で20.4%減少、勾当台公園地下駐車場で21.8%減少、泉中央駅前駐車場で17.7%減少し、全体では19.4%減少しています。

■ 公債管理特別会計

(仙台市の借入金である市債の元金や利子などの支払を行うための会計)

- 一般会計と特別会計の公債費を一括して経理するために設置しています。
- 元金金の支払が868億円、新規記録・引受手数料などの諸費用が2億円、市債管理基金への積立が278億円でした。

■ 母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計

(母子・父子世帯や寡婦の方に対する福祉資金貸付の会計)

- 貸付実績は、母子福祉資金66件2,183万円、父子福祉資金2件98万円、寡婦福祉資金3件133万円でした。
- 令和2年度末の貸付残高は、母子福祉資金5億1,737万円、父子福祉資金490万円、寡婦福祉資金1,044万円でした。

■ 新墓園事業特別会計

(長期的、安定的に市民の墓地を確保するため、新たな墓園を整備し、運営管理を行うための会計)

- 仙台市いずみ墓園において、造成工事等を行いました。
- 新規貸出募集は、春と秋に2回実施し、貸出数は、一般墓所94基、芝生墓所131基、個別集合墓所217基で、合計442基でした。

■ 介護保険事業特別会計

(65歳以上の方と、40歳以上65歳未満で特定の病気により介護が必要と認められた方を対象に介護サービスを行う介護保険制度の会計)

- 介護を必要とする方が、居宅や特別養護老人ホームなどの施設で受けた各種の介護サービスに要した保険給付額は、698億円でした。
- 介護予防や地域包括支援センター運営などの地域支援事業費は43億円でした。
- 要介護等の認定を受けている方は、4万8,236人となりました。

■ 後期高齢者医療事業特別会計

(75歳以上の方と、65歳以上75歳未満で一定の障害のある方を対象に医療の実施などを行う宮城県後期高齢者医療広域連合への保険料などを管理する会計)

- 市内の被保険者に保険料として99億円をご負担いただき、宮城県後期高齢者医療広域連合へ納付金として支出しました。
- 所得の少ない方の保険料負担を軽減するために17億円を支出しました。

② 企業会計

下水道事業会計（下水道事業の会計）

- ・ 災害復旧事業としては、令和元年東日本台風により被害を受けた下水道施設の復旧を進めました。
- ・ 地震対策事業としては、第3南蒲生幹線工事や梅田川幹線等の合流管耐震化工事（更生工法）等を実施しました。
- ・ 浸水対策事業としては、仙台駅西口地区浸水被害軽減対策のための広瀬川第3雨水幹線工事を実施するとともに、西原雨水ポンプ場のポンプ増設に係る実施設計に着手しました。

令和2年度普及状況

・ 行政区域内人口（A）	106万3,169人
・ 処理区域内人口（B）	106万175人
・ 水洗化人口	105万6,814人
・ 人口普及率（B/A）	99.7%
・ 処理区域面積	1万7,543ha



©2010「ゴールデンランバー」製作委員会

自動車運送事業会計（バス事業の会計）

- ・ 安全運転の強化等に向け、乗務員研修において外部講師、ドライブレコーダーを活用するとともに、経験年数の短い乗務員を対象とした添乗指導や、運転技術等を乗務員同士が互いに確認、共有する路上運転研修を引き続き行いました。
- ・ 令和元年東日本台風の被害等を踏まえ、お客様及び職員の安全の確保と、車両への被害を最小限に抑え、早期の運行再開を行うために「計画運休」を導入しました。
- ・ 感染症拡大防止のため、バス全車両の車内において抗ウイルスコーティングを行ったほか、運転席の周囲に防護スクリーンを設置しました。
- ・ サービス向上として、バス接近状況が確認できる「どこバス仙台」の案内機能の改良を実施しました。
- ・ バリアフリー化の推進や環境対策として、低公害ノンステップバスの導入を継続して行いました。
- ・ 利用促進に向けて、新たに近隣市の中学校に在籍する3年生を対象に加え、一日乗り放題となる無料乗車券「中学3年生卒業おめでとうきっぷ」の配布などを行いました。

令和2年度運行状況

・ 営業路線延長	568.6km
・ 乗車人員	延べ2,790万5,575人

※乗車人員は、前年度に比べ25.7%の減となりました。



高速鉄道事業会計（地下鉄事業の会計）

- 安全性向上のため、南北線において変電所の非常用発電設備の更新等を実施しました。
- バリアフリー化の一環として、駅出入口の階段の段差明瞭化や駅構内における触知案内設備の整備を行いました。また、駅トイレについて、入口の段差解消やオストメイト用設備を備えた車椅子対応トイレの増設を含めた全面改修を計画的に実施しました。
- 令和元年東日本台風の際の浸水被害を踏まえ、お客様及び職員の安全の確保と、車両等への被害を最小限に抑え、早期の運行再開を行うために「計画運休」を導入しました。
- 感染症拡大防止のため、南北線・東西線の全車両の車内において抗ウイルスコーティングを行ったほか、駅窓口に間仕切りを設置しました。
- 利便性向上のため、勾当台公園駅北1出入口における下りエスカレーター設備の増設を行いました。
- 利用促進に向けて、東西線開業5周年記念事業として、1編成に記念のステッカーを貼付し、車内に建設状況のポスターの掲出等を行いました。

令和2年度運行状況（南北線・東西線）

- 営業路線延長 28.7km
- 乗車人員 延べ6,960万1,242人

※乗車人員は、前年度に比べ24.1%の減となりました。



水道事業会計（上水道事業の会計）

- 漏水発生リスクや、地震等の災害発生時の被害を抑えるため、管路更新のペースアップを行い、老朽化した管路の更新・耐震化を行いました。
- 災害時でも安定した給水が行えるよう、単独配水区域の解消を進めました。
- アセットマネジメント手法による効率的な維持管理・更新を行い、ライフサイクルコスト縮減を進めました。
- 水源涵養林の保全育成に取り組む「青下の杜プロジェクト」や、入浴による様々な効果の情報発信を行う「おふる部」等、民間事業者等との連携事業を推進しました。
- 災害対応力の強化のため、災害時給水施設の設置や、他の水道事業体との情報伝達訓練を行いました。

令和2年度配水状況

- 給水人口 106万3,272人
- 人口普及率 99.7%
- 配水量 1億2,152万³m

※配水量は、前年度に比べ1.4%の増となりました。



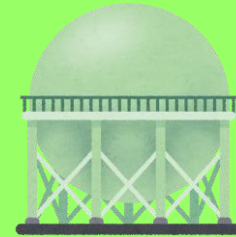
ガス事業会計（都市ガス事業の会計）

- ・ 経年管の入替えを着実に推進したほか、さらなる安定供給の確保を図るため供給監視システムの更新を進めました。
- ・ 業務用機器の新設や更新等の時機を捉えて、ガス空調やコージェネレーションシステム等の導入提案を行うなど、業種業態別の営業展開を図り、新規需要の獲得と他燃料への離脱防止に取り組みました。

令和2年度供給状況

- ・ 需要家戸数 34万5,188戸
- ・ 供給区域内の普及率 60.3%
- ・ ガス販売量 3億240万^m₃

※販売量は、前年度に比べ2.3%の減となりました。



病院事業会計（市立病院事業の会計）

- ・ 仙台医療圏の中核病院として複雑多様化する医療ニーズに的確に対応するとともに、高度な医療技術と診療機能を発揮して、市民の「健康の増進」と「福祉の向上」に努めました。
- ・ 増加する新型コロナウイルス感染症患者を受け入れるため、施設の改修や医療機器の整備を行い、必要な病床を確保するなど、積極的な対応を行いました。
- ・ 救命救急医療、小児救急医療、身体合併症精神科救急医療、周産期医療をはじめとする自治体病院の使命である政策的医療の提供に注力しました。

令和2年度患者数

- ・ 外来 延べ20万6,581人
- ・ 入院 延べ14万83人

※患者数は、前年度と比べると、外来は5.8%の減、入院は8.5%の減となりました。



2. 令和3年度上半期の財政状況（令和3年9月30日現在）

ここからは、令和3年度予算の執行状況や財産の状況などについてお知らせします。

（1）予算の執行状況

① 一般会計

令和3年度の予算現額(令和3年度当初予算に令和2年度繰越額及び令和3年第3回定例会の9月追加提案までの補正を反映させた予算額)は約6,826億円です。予算の執行率は歳入が32.5%、歳出が34.9%です。

歳入予算の項目執行状況

（単位：千円）

	予算現額	収入済額	収入済率
市 税	206,043,000	113,402,658	55.0%
国庫支出金	126,337,801	37,408,246	29.6%
市 債	82,613,500	1,352,400	1.6%
県支出金	81,435,335	12,573,160	15.4%
繰入金	48,184,192	0	0.0%
諸収入	45,407,792	4,378,157	9.6%
その他	92,541,204	52,939,973	57.2%
合 計	682,562,824	222,054,594	32.5%

※ 収入済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

歳出予算の項目執行状況

（単位：千円）

	予算現額	支出済額	支出済率
健康福祉費	235,299,363	86,867,167	36.9%
教育費	107,636,533	41,369,257	38.4%
経 済 費	97,304,783	53,302,288	54.8%
土 木 費	70,144,385	19,272,877	27.5%
公 債 費	61,565,721	0	0.0%
総 務 費	45,823,276	9,494,024	20.7%
その他	64,788,763	28,038,794	43.3%
合 計	682,562,824	238,344,407	34.9%

※ 支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 公債費の支出済率が0%となっているのは、市債の元利償還や利子の支払いを一括管理している公債管理特別会計への精算処理を出納整理期間中に行うためです。

② 特別会計

令和3年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名	予算現額	収入済額	収入済率	支出済額	支出済率
都市改造事業	2,885,207	680,526	23.6%	220,418	7.6%
国民健康保険事業	89,337,907	35,008,800	39.2%	36,880,949	41.3%
中央卸売市場事業	4,788,108	1,004,358	21.0%	1,416,813	29.6%
公共用地先行取得事業	970,655	14,383	1.5%	474,578	48.9%
駐車場事業	172,318	73,763	42.8%	32,380	18.8%
公債管理	118,327,733	22,647,600	19.1%	36,300,121	30.7%
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	77,597	234,817	302.6%	10,664	13.7%
新墓園事業	648,782	245,110	37.8%	53,711	8.3%
介護保険事業	84,432,238	33,508,318	39.7%	33,051,689	39.1%
後期高齢者医療事業	12,443,335	4,363,683	35.1%	5,020,440	40.3%
合 計	314,083,880	97,781,358	31.1%	113,461,763	36.1%

※ 収入済率及び支出済率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

③ 企業会計

令和3年度上半期予算執行状況

(単位：千円)

会 計 名	収益的収支			資本的収支			
	予算現額	執行済額	執行率	予算現額	執行済額	執行率	
下水道事業	収入	36,161,459	9,260,468	25.6%	29,312,951	6,756,688	23.1%
	支出	33,920,495	4,391,370	12.9%	43,575,591	11,549,290	26.5%
自動車運送事業	収入	9,459,961	5,655,597	59.8%	1,396,700	318,000	22.8%
	支出	10,746,037	4,042,791	37.6%	1,833,708	367,405	20.0%
高速鉄道事業	収入	21,400,590	7,969,252	37.2%	2,279,146	139,903	6.1%
	支出	23,893,604	3,995,692	16.7%	10,113,572	4,693,258	46.4%
水道事業	収入	29,808,556	14,586,723	48.9%	6,838,234	322,709	4.7%
	支出	27,154,230	5,533,834	20.4%	22,342,918	6,022,814	27.0%
ガス事業	収入	33,847,636	15,545,906	45.9%	3,472,890	9,270	0.3%
	支出	30,477,648	11,685,990	38.3%	8,543,562	4,057,682	47.5%
病院事業	収入	17,719,340	10,173,850	57.4%	2,735,859	491,906	18.0%
	支出	19,056,831	7,129,227	37.4%	3,113,845	734,616	23.6%
合 計	収入	148,397,542	63,191,796	42.6%	46,035,780	8,038,476	17.5%
	支出	145,248,845	36,778,904	25.3%	89,523,196	27,425,065	30.6%

※ 執行率は、千円単位で計算した場合の割合としています。

※ 消費税込みの金額となっています。

(2) 市債、市有財産、基金などの状況

① 市債の状況

会計別市債現在高

(単位：千円)

	現在高	借入先				
		財務省	独立行政法人 郵便貯金簡易生命 保険管理・郵便局 ネットワーク支援 機構	地方公共団体 金融機構	市場公募債	市中銀行等
一般会計	848,181,668	161,547,997	4,039,214	62,491,570	478,117,575	141,985,312
特別会計	32,934,380	1,607,436	29,796	5,438,727	17,882,425	7,975,996
都市改造事業	16,106,425	171,777	29,796	379,407	13,837,325	1,688,120
中央卸売市場事業	10,544,159	1,435,659	0	5,059,320	44,000	4,005,180
公共用地先行取得事業	0	0	0	0	0	0
駐車場事業	0	0	0	0	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	592,956	0	0	0	0	592,956
新墓園事業	5,690,840	0	0	0	4,001,100	1,689,740
企業会計	409,516,668	103,258,388	27,553,229	177,826,491	0	100,878,560
下水道事業	178,415,980	26,808,650	27,143,310	69,509,273	0	54,954,747
自動車運送事業	3,620,787	125,889	0	185,398	0	3,309,500
高速鉄道事業	120,620,436	14,100,105	409,919	72,001,507	0	34,108,905
水道事業	56,728,477	32,496,389	0	20,705,488	0	3,526,600
ガス事業	29,241,908	15,394,349	0	12,425,844	0	1,421,715
病院事業	20,889,080	14,333,006	0	2,998,981	0	3,557,093
合計	1,290,632,716	266,413,821	31,622,239	245,756,788	496,000,000	250,839,868

一般会計のうち目的別内訳

(単位：千円)

区分	現在高	区分	現在高
総務債	5,782,664	高速鉄道事業債	99,119,384
市民債	35,111,325	水道事業債	3,109,872
健康福祉債	34,338,769	災害復旧債	5,270,564
環境債	10,217,958	減税補てん債	24,701,700
経済債	3,883,401	臨時税収補てん債	263,000
土木債	233,100,311	臨時財政対策債	295,999,573
消防債	13,450,231	減収補てん債	7,039,245
教育債	74,623,671	猶予特例債	2,170,000
		合計	848,181,668

② 市有財産、基金の状況

一般会計と特別会計の財産

	単位	行政財産 ^{※1}		普通財産 ^{※4}	合 計
		公用財産 ^{※2}	公共用財産 ^{※3}		
土地	m ²	2,007,200	34,823,395	14,866,319	51,696,914
建物	m ²	364,167	3,134,763	78,371	3,577,301
山林（市有林）	m ²	3,326,535		17,892,760	21,219,295
立木	m ³	59,685		393,294	452,979
物権	m ²	35,984		8,060	44,044
動産	機	2		0	2
無体財産権	件	26		0	26
有価証券	千円			144,879	144,879
出資による権利	千円			8,347,318	8,347,318
物品	千円			21,703,000	21,703,000
債権	千円			15,427,336	15,427,336
基金 ^{※5}	千円			271,299,317	271,299,317

注) 土地のうち、行政財産の3,326,535m²と普通財産の12,886,459m²は山林（市有林）と重複しています。
また、立木は推定蓄積量です。

※1 行政財産 市が所有している財産で、行政目的に利用されているものや、利用されることが決定されたもので、公用財産と公共用財産に分けられます。

※2 公用財産 庁舎など、市が事務を行うために直接使用することを本来の目的とする財産です。

※3 公共用財産 公園、学校など、市民の皆さんが利用することを本来の目的とする財産です。

※4 普通財産 行政財産以外の財産です。直接特定の行政目的に使われるものではなく、一般私人と同等の立場で所有し、貸付などによる収益は市の財産収入となるものです。

※5 基金 財政の健全な運営や特定の目的のため財産を維持し、資金を積み立て、又は定額の資金を運用するために設けられる資金又は財産です。本市の場合、17の基金を設置しています。

（17の基金：財政調整基金、市債管理基金、高速鉄道建設基金、百年の杜づくり推進基金、環境保全基金、福祉基金、文化振興基金、仙台城史跡整備基金、震災復興基金、公共施設保全整備基金、中小企業活性化基金、市庁舎整備基金、奨学金返還支援基金、災害救助基金、土地開発基金、国民健康保険事業財政調整基金、介護保険事業財政調整基金）

企業会計の財産

(単位：千円)

	下水道事業	自動車 運送事業	高速鉄道事業	水道事業	ガス事業	病院事業	合計
土地	20,179,207	2,718,212	14,027,394	8,625,364	8,702,870	9,170,830	63,423,877
土地面積(m ²)	2,080,691	125,673	239,907	2,621,738	284,643	35,018	5,387,670
建物	27,250,451	1,078,954	42,572,028	17,193,316	2,673,889	14,319,539	105,088,177
建物面積(m ²)	123,361	14,355	242,745	70,802	37,813	55,800	544,876
構築物	481,378,242	225,476	193,608,912	298,695,383	26,559,545	245,991	1,000,713,549
未竣工施設建設仮勘定	27,530,824	8,800	194,701	3,504,718	494,532	0	31,733,575
車両運搬具	22,023	1,606,878	5,189,625	262,470	57,104	601	7,138,701
機械及び装置	52,460,149	46,428	6,584,552	33,979,029	4,861,569	1,764,433	99,696,160
器具工具備品	52,458	446,755	116,783	1,413,598	34,816	0	2,064,410
リース資産	0	0	0	197,187	70,994	0	268,181
長期貸付金等	0	0	0	0	0	0	0
出資による権利	27,000	28,103	93,289	69,500	141,897	0	359,789
無形固定資産	3,294,158	16,535	7,630	5,596,481	746,264	44,168	9,705,236
合計 (千円)	612,194,512	6,176,141	262,394,914	369,537,046	44,343,480	25,545,562	1,320,191,655

※ 財産のうち、建物、構築物、車両運搬具、機械及び装置、器具工具備品、無形固定資産については、減価償却後の金額。

③ 一時借入金の状況

(単位：千円)

会計名		現在高
一般会計		0
特別会計		0
企業会計		500,000
内訳	下水道事業	0
	自動車運送事業	0
	高速鉄道事業	500,000
	水道事業	0
	ガス事業	0
	病院事業	0
合計		500,000

※ 一時借入金は、支払い資金の不足を臨時的に補うために、その年度内で償還する条件で借り入れるものです。

[寄附のお願い]

仙台ふるさと応援寄附

仙台ふるさと応援寄附



仙台市は、復興の次のステージに向けて確実に歩みを進め、希望ある未来を創るため、人々の夢や意欲を育み、躍動し続けるまちづくりに取り組んでいきます。

皆様の寄附による仙台市への応援をよろしく願いいたします。

なお、令和2年5月より「新型コロナウイルス感染症対策」を寄附金の使いみちに追加しています。

● 寄附金の使いみち

お申し込みの際、寄附金の使いみちをお選びいただけます。

<input type="checkbox"/> 震災復興	<input type="checkbox"/> 防災・減災施策の充実	<input type="checkbox"/> ふるさとの杜再生	<input type="checkbox"/> 震災遺構・メモリアル施設運営
<input type="checkbox"/> 楽都仙台推進(音楽文化の振興)	<input type="checkbox"/> 文化芸術振興	<input type="checkbox"/> 仙台のお祭り応援	<input type="checkbox"/> 子育て支援
<input type="checkbox"/> 学校・学び・文化財・ミュージアム事業応援	<input type="checkbox"/> 障害者施策推進	<input type="checkbox"/> 高齢者施策推進	<input type="checkbox"/> 保健福祉推進
<input type="checkbox"/> ふるさと農業振興事業	<input type="checkbox"/> 社会起業家支援	<input type="checkbox"/> 奨学金返還支援	<input type="checkbox"/> 百年の杜づくり推進基金
<input type="checkbox"/> 八木山動物公園オフィシャルサポーター	<input type="checkbox"/> 街路樹・公園遊具管理	<input type="checkbox"/> 環境保全	<input type="checkbox"/> 地域の防犯・交通安全施策推進
<input type="checkbox"/> 動物愛護の推進	<input type="checkbox"/> 仙台国際ハーフマラソン大会応援	<input type="checkbox"/> スポーツ振興	<input type="checkbox"/> 協働によるまちづくりの推進
<input type="checkbox"/> 新型コロナウイルス感染症対策	<input type="checkbox"/> 仙台まるごと応援	※ご指定がない場合は「仙台まるごと応援」に活用させていただきます。	

● 寄附された方と寄附金活用状況のご紹介

公表について承諾をいただいた方のお名前や、寄附金の活用状況などを仙台市ホームページで紹介しております。

● 税制面の優遇

○ 事業者の方

申告により、寄附金の全額が法人税の損金扱いとなります。

○ 個人の方

寄附（ふるさと納税）について確定申告をしていただくと、住民税と所得税から寄附金の2,000円を超える部分が一定限度控除されます。

一定の給与所得者等（寄附金の控除以外に申告すべき事項が無い方）は、ワンストップ特例申請により、税の申告を行わなくても寄附金の控除を受けられる「ふるさと納税ワンストップ特例制度」をご利用いただけます。

※税の申告をする方、ふるさと納税先が5団体を超える場合はこの制度の対象とはなりません。

● 寄附のお申し込み

ホームページ「楽天ふるさと納税」からお申し込みいただけます。

申請書による場合は、ファックス、郵送、電子メール、持参のいずれかの方法により、仙台市役所財政局財政企画課までお申し込みください。

● 問合せ先

○ 仙台市への寄附に関すること：財政局財政企画課 電話：022-214-8111

○ 税の控除に関すること：お住まいの市区町村の税務担当課にお問い合わせください。
(仙台市にお住まいの方：財政局市民税課 電話：022-214-8637、8638)

寄附の詳細につきましては、ホームページをご覧ください。

仙台ふるさと応援寄附

検索

<https://www.city.sendai.jp/zaiseikikaku-somu/shise/zaise/zaimu/zaise/sendaiishi/oenkifu/index.html>

[宝くじ購入のお願い]

仙台市 宝くじ情報

みなさ～ん
宝くじは
仙台市内で
買ってね。



宝くじのイメージキャラクター
「クーちゃん」

宝くじは、**仙台市内**でお買い求めください!!

仙台市内で販売された宝くじの売上の一部は、仙台市の収入となっており、高齢化・少子化対策のための事業や環境保全事業などの貴重な財源として活用しています。

宝くじは夢を持つことができるとともに、市民の皆様のよりよい生活のために大変役立つものなのです。

宝くじ公式サイトなら
いつでもどこでも宝くじが買える!



ジャンボ
宝くじも
買える!

宝くじ

宝くじの情報は仙台市ホームページ
からもご覧いただけます!

仙台市 宝くじ情報

検索



みんなの財政のミカタ

令和3年12月

編集・発行 仙台市財政局財政部財政企画課

仙台市青葉区国分町三丁目7-1

電話 022 (214) 8111

FAX 022 (262) 6709

E-MAIL zai003005@city.sendai.jp